

(財)財務会計基準機構会員



**JASDAQ**

平成21年5月15日

各 位

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社  
代表者名 代表取締役 炭井 孝志  
(JQ・コード番号2915)  
問合せ先 取締役 奥田 洋  
電話番号 03-5317-1111

### 業績予想との差異に関するお知らせ

平成21年3月30日に公表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日~平成21年3月31日)の業績予想数値と比較して、本日公表の平成21年3月期決算において下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 1. 平成21年3月期通期 業績予想数値との差異(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

##### (1) 通期連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	54,500	800	800	150
実績値 (B)	53,193	977	920	300
増減額 (B-A)	1,307	177	120	150
増減率 (%)	2.4	22.1	15.0	100.0
(ご参考)前年同期実績 (平成20年3月期)	53,075	1,606	1,529	710

##### (2) 通期個別業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	45,200	620	620	370
実績値 (B)	44,667	869	855	394
増減額 (B-A)	533	249	235	24
増減率 (%)	1.2	40.2	37.9	6.5
(ご参考)前年同期実績 (平成20年3月期)	44,161	1,143	1,136	482

## 2. 業績予想との差異理由

連結、個別業績ともに差異理由は以下の通りです。

昨年秋以降の景気後退や雇用不安を背景に、消費者の節約志向が高まり外食離れが進みました。当社におきましても販売数量が前期を下回る水準で推移する中、数量回復に向けた取り組みを実施して参りましたが、売上高は減少となりました。

しかしながら営業利益、経常利益につきましては、当社が進めて参りました価格改定が浸透しましたこと、また原材料の高騰は当社の想定を下回った事により増加となりました。

当期純利益につきましては、業績回復により財務体質の改善が見られた子会社については繰延税金資産を計上しました事により連結当期純利益の増加幅が大きくなっております。また個別業績における当期純利益が経常利益に対して低い水準となっておりますのは、減損損失等の特別損失を計上していることによります。

なお配当予想につきましては従来どおり11円としております。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上